

白 監 査 第 20 号
令 和 3 年 8 月 31 日

白老町長 戸 田 安 彦 様

白老町監査委員 菅 原 道 幸



白老町監査委員 及 川 保



令和 2 年度白老町下水道事業会計決算に係る審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された令和 2 年度白老町
下水道事業会計決算について、別紙のとおり意見書を提出いたします。

令和2年度

白老町下水道事業会計決算審査意見書

白老町監査委員

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果及び意見	1
第5	審査の内容	2
1	事業の概要	2・3
2	予算の執行状況	3
	(1) 収益的収入及び支出	3・4
	(2) 資本的収入及び支出	4・5
	(3) 特例的収入及び支出	5・6
3	経営成績	6
	(1) 経常収益及び費用の内訳	6・7
4	財政状態	7
	(1) 資産	7
	(2) 負債	7・8
	(3) 資本	8
5	キャッシュ・フロー計算書	8
6	経営指標（経営の健全性・効率性・老朽化の状況）	8
	(1) 財政状態の健全性	9
	(2) 老朽化の状況	10
別表			
別表1	令和2年度白老町下水道事業損益計算書	11
別表2	令和2年度白老町下水道事業貸借対照表	12
別表3	キャッシュ・フロー計算書	13
別表4	経営指標（経営の健全性・効率性・老朽化の状況）	14

令和2年度白老町下水道事業会計決算審査意見書

第1. 審査の対象

令和2年度白老町下水道事業会計決算

第2. 審査の期間

令和3年7月21日から8月27日までの間

第3. 審査の方法

決算の審査にあたっては、町長から審査に付された決算書類及び財務諸表並びに付属書類が適法に作成され、事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているか否かを検証するため、関係諸帳簿等を照合確認するとともに、関係職員の説明を求め、計数の正否、法令上の適否について審査を行った。

また、本会計は公営企業会計として、地方公営企業法適用初年度であることに留意して審査を実施した。

第4. 審査の結果及び意見

審査に付された令和2年度白老町下水道事業会計決算報告書、財務諸表及び付属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成され、計数は正確であり、事業の経営成績及び財政状態が適正に表示しているものと認められた。

本会計は、令和2年度より官公庁会計から公営企業会計へ移行された初年度の決算となり、本年度の決算は黒字決算となっている。

しかし、今後も既存施設の老朽化に伴う維持修繕や更新改良に巨額の費用が必要となるため、使用料収入だけでは下水道事業を維持していくことは難しく、収益の根幹である下水道使用料も人口減少などの要因で、減少傾向にあり経営状況は厳しい状況が続くものと思われまます。

本町の下水道事業は、今後、普及促進から維持管理へシフトされていく中で、下水道が担う役割を果たしていくためには、資金収支に配慮しながら、計画的かつ効率的な設備の更新を行うなど、引き続き安定的な経営に努められたい。

第5. 審査の内容

本会計は、公営企業会計として、地方公営企業法適用初年度となるため、本意見書において、前年度との比較ができない項目については、当年度の数値のみ記載とした。

1. 事業の概要

本年度の業務等の実績は次表のとおりである。

業務実績表

区 分	単位	令和2年度	令和元年度	比較増減		増減率
		A	B	A-B	C	C/B (%)
行政区域内人口	人	16,237	16,471	△234		△1.4
処理区域内人口	人	14,735	14,998	△263		△1.8
普及率	%	90.7	91.1	△0.4		△0.4
水洗化人口	人	13,935	14,111	△176		△1.3
水洗化率	%	94.6	94.1	0.5		0.5
総処理水量/年	m ³	2,101,470	2,191,023	△89,553		△4.1
総処理水量/日	m ³	5,757	5,986	△229		△3.8
計画処理能力	m ³ /日	11,050	11,050	0		0.0
施設稼働率	%	52.1	54.2	△2.1		3.9
雨水処理水量/年	m ³	262,772	418,355	△155,583		△37.2
汚水処理水量/年	m ³	1,838,698	1,772,668	66,030		3.7
汚水処理水量/日	m ³	5,038	4,843	195		4.0
有収水量/年	m ³	1,423,922	1,405,557	18,365		1.3
有収水量/日	m ³	3,901	3,840	61		1.6
有収率	%	77.4	79.3	△1.9		△2.4
職員数	人	7	7	0		0.0

本年度末における行政区域内人口は、16,237人で、前年度と比較して234人(1.4%)減少、処理区域内人口は、14,735人で、前年度と比較して263人(1.8%)減少しており、普及率は90.7%で、前年度と比較して0.4%減少している。

また、水洗化人口は、13,935人で、前年度と比較して176人(1.3%)減少し、水洗化率は、94.6%で前年度と比較して0.5%増加している。

下水道施設における年間総処理水量は、2,101,470 m³で、前年度と比較して、89,553 m³ (4.1%) 減少、雨水を除く年間汚水処理水量は、1,838,698 m³で、前年度と比較して66,030 m³ (3.7%) 増加している。

なお、年間有収水量は1,423,922 m³で、前年度と比較して、18,365 m³ (1.3%) 増加し、有収率は、77.4%で、前年度と比較して2.4%減少している。

当年度の建設改良事業は、前年度に引き続き下水終末処理場M I C S施設建設工事を行っているほか、下水道管渠施設補修工事や下水終末処理場機械濃縮機分解整備修繕工事等を実施している。

2. 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入および支出の執行状況は次表のとおりである。

収 入		(単位：円、%)		
区 分	予算額	決算額	予算額との比較	収入率
下水道事業収益	1,165,447,000	1,207,913,907	42,466,907	103.6
営業収益	515,879,000	560,052,921	44,173,921	108.6
営業外収益	649,568,000	647,860,986	△1,707,014	99.7

収入は、下水道事業収益の予算額11億6,544万7千円に対して決算額は12億791万3,907円で、予算額に対して収入率は103.6%、4,246万6,907円増加している。

支 出

(単位：円、%)

区 分	予算額	決算額	不用額	執行率
下水道事業費用	1,116,245,000	1,097,786,110	18,458,890	98.4
営業費用	955,000,000	951,936,112	3,063,888	99.7
営業外費用	136,026,000	124,325,335	11,700,665	91.4
特別損失	24,219,000	21,524,663	2,694,337	88.9
予備費	1,000,000	0	1,000,000	0.0

支出は、下水道事業費用の予算額11億1,624万5千円に対して決算額は、10億9,778万6,110円で、予算額に対して執行率は98.4%、1,845万8,890円の不用額である。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の執行状況は次表のとおりである。

収 入

(単位：円、%)

区 分	予算額	決算額	予算額との比較	収入率
資本的収入	1,446,438,000	987,304,758	△459,133,242	68.3
企業債	428,900,000	234,800,000	△194,100,000	54.7
国庫補助金	672,232,900	426,034,900	△246,198,000	63.4
他会計補助金	344,613,000	325,701,000	△18,912,000	94.5
受益者負担金	692,100	768,858	76,758	111.1

収入は、予算額14億4,643万8千円に対して決算額は9億8,730万4,758円で、収入率は68.3%、予算額に対して4億5,913万3,242円減少している。

その内訳は、企業債1億9,410万円、国庫補助金2億4,619万8千円、他会計補助金1,891万2千円減少、受益者負担金は7万6,758円増加している。

支 出

(単位：円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的収支出	1,823,025,000	1,362,411,538	440,804,000	19,809,462	74.7
建設改良費	1,199,724,000	739,271,046	440,804,000	19,648,954	61.6
企業債償還金	623,301,000	623,140,492	0	160,508	100.0

支出は、予算額 18 億 2,302 万 5 千円に対して決算額は 13 億 6,241 万 1,538 円で、予算額に対して執行率は 74.7%、1,980 万 9,462 円の不用額である。

また、建設改良工事に係る翌年度繰越額は 4 億 4,080 万 4 千円である。

なお、資本的収入額（翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額 4 億 4,080 万 4 千円を除く）が資本的支出額に不足する額 3 億 7,510 万 6,780 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,007 万 2,657 円、引継金 6,938 万 6,340 円、当年度分損益勘定留保資金 2 億万 9,564 万 7,783 円で補てんされている。

(3) 特例的収入及び支出

本会計は、地方公営企業法適用の初年度となるため、地方公営企業法施行令第 4 条第 4 項の規定により、適用前に発生した未収金（特例的収入）、未払金（特例的支出）を当該年度に属する債権及び債務として整理するため、特例的収入及び支出として処理されている。

執行状況は次表のとおりである。

収 入

(単位：円、%)

区 分	予算額	決算額	予算額との比較	収入率
特例的収入	51,291,000	51,291,863	863	100.0

支 出

(単位：円、%)

区 分	予算額	決算額	不用額	収入率
特例的支出	89,141,000	89,135,554	5,446	100.0

特例的収入は、予算額 5,129 万 1 千円に対して決算額は 5,129 万 1,863 円

で、特例的支出は、予算額 8,914 万 1 千円に対して決算額は 8,913 万 5,554 円である。

なお、特例的収入額が特例的支出額に不足する額 3,784 万 3,691 円は、全額、年度当初の引継金で補てんされている。

3. 経営成績 (損益計算書は別表 1 のとおり)

本年度の経常収益は、11 億 7,161 万 8,804 円となり、経常費用が 10 億 4,620 万 4,964 円で、差引当年度 1 億 2,541 万 3,840 円の経常利益である。

(1) 経常収益及び費用の内訳

(単位：円、%)

区 分	経常収益	区 分	経常費用
営業収益	523,759,532	営業費用	925,714,428
下水道使用料	359,530,097	管渠費	35,151,613
他会計負担金	139,754,000	処理場費	207,612,943
受託事業収益	21,015,000	総係費	46,906,299
その他営業収益	3,460,435	減価償却費	614,464,220
営業外収益	647,859,272	資産減耗費	21,579,353
受取利息及び配当金	0	営業外費用	98,966,635
他会計補助金	326,411,000	支払利息及び企業 債取扱諸費	98,966,635
長期前受金戻入	321,413,966	その他営業外費用	0
雑収益	34,306	特別損失	21,523,901
特別利益	0	過年度損益修正損	7,638
その他の特別利益	0	その他特別損失	21,516,263
合計 (経常収益)	1,171,618,804	合計 (経常費用)	1,046,204,964

経常収益の内訳については、営業収益 5 億 2,375 万 9,532 円と営業外収益 6 億 4,785 万 9,272 円である。

営業収益の内訳は、下水道使用料 3 億 5,953 万 97 円、他会計負担金 1 億 3,975 万 4 千円、受託事業収益 2,101 万 5 千円、その他営業収益 346 万 435 円である。

4. 財政状態 (比較貸借対照表は別表 2 のとおり)

(1) 資産

(単位：円、%)

区 分	令 和 2 年 度
固 定 資 産	13,634,480,650
流 動 資 産	188,004,841
資 産 合 計	13,822,485,491

資産総額は、138 億 2,248 万 5,491 円で、その内訳は、固定資産が 136 億 3,448 万 650 円、流動資産が 1 億 8,800 万 4,841 円である。

(2) 負債

(単位：円、%)

区 分	令 和 2 年 度
固定負債	4,679,443,367
流動負債	672,265,793
繰延収益 (長期前受金)	7,307,867,627
負債合計	12,257,802,535

負債総額は 122 億 5,780 万 2,535 円で、その内訳は固定負債が 46 億 7,944

万 3,367 円、流動負債 6 億 7,226 万 5,793 円、繰延収益（長期前受金）73 億 786 万 7,627 円である。

（3）資本

（単位：円、％）

区 分	令和 2 年度
資本金	1,431,861,116
資本剰余金	7,408,000
利益剰余金	125,413,840
資本合計	1,564,682,956

資本総額は 15 億 6,468 万 2,956 円で、負債資本の合計は 138 億 2,248 万 5,491 円である。

5. キャッシュ・フロー計算書 （別表 3 のとおり）

キャッシュ・フロー計算書の状況は、期首資金残高 1 億 723 万 31 円に対して、資金期末残高は 1 億 3,914 万 1,661 円となっており、3,191 万 1,630 円増加している。

この内訳は、業務活動によるものが 4 億 701 万 8,410 円、投資活動によるものが 1,323 万 3,712 円、財務活動によるものが△3 億 8,834 万 492 円となっている。

6. 経営指標（経営の健全性・効率性・老朽化の状況） 別表 4 のとおり

本年度における企業経営の健全性、効率性等を評価する主な指標の状況は、次のとおりである。

(1) 財政状態の健全性

① 経常収支比率

経常費用に対する経常収益の割合で、本年度は 111.9%である。
この数値が 100%を超える場合は、単年度の収支は黒字である。

② 流動比率

1年以内に支払うべき負債（流動負債）に対する1年以内に現金化できる資産（流動資産）の割合で、この数値は 100%以上であることが必要であり、本年度は 27.9%と低位の数値であるが、流動負債には建設改良費等に充てられた企業債なども含まれていることなどにより、低位の数値となる。

③ 企業債残高対事業規模比率

使用料収入に対する企業債残高の割合で、本年度は 809.0%である。

④ 経費回収率

使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えているかを示す割合で、本年度は 57.9%である。

この比率が 100%を下回っている場合は、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入で賄っていることになる。

⑤ 汚水処理原価

有収水量 1 m³あたりの汚水処理に要した費用であり、本年度は 43,561.5 円である。

⑥ 施設利用率

1日処理能力に対する1日平均配水量の割合で、本年度は 52.1%である。

⑦ 水洗化率

現在処理区域内人口のうち、水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合で、本年度は 94.5%である。

公共用水域の水質保全や使用料収入の増加等の観点から 100%となっていることが望ましい。

(2) 老朽化の状況

① 有形固定資産減価償却率

有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかの割合で、本年度は4.5%である。

② 管渠老朽化率

法定耐用年数を超えた管渠延長の割合で、本年度は6.6%である。

別表 1

令和 2 年度白老町下水道事業損益計算書

(単位：円、%)

年 度		令和 2 年度
科 目		
営 業 収 益		523,759,532
下水道使用料		359,530,097
他会計負担金		139,754,000
受託事業収益		21,015,000
その他の営業収益		3,460,435
営 業 外 収 益		647,859,272
受取利息及び配当金		0
他会計補助金		326,411,000
長期前受金戻入		321,413,966
雑 収 益		34,306
合 計 (経常収益)		1,171,618,804
営 業 費 用		925,714,428
管渠費		35,151,613
処理場費		207,612,943
総係費		46,906,299
減価償却費		614,464,220
資産減耗費		21,579,353
営業外費用		98,966,635
支払利息及び企業債取扱諸費		98,966,635
その他営業費用		0
特別損失		21,523,901
過年度損益修正損		7,638
その他特別損失		21,516,263
合 計 (経常費用)		1,046,204,964
当年度純利益		125,413,840
前年度繰越利益剰余金		0
その他の未処分利益剰余金変動額		0
当年度未処分利益剰余金		125,413,840
利益剰余金処分別 (案)	減債積立金	125,413,840
	建設改良積立金	0
	資本金組入	0
翌年度繰越利益剰余金 (案)		0

別表2

令和2年度白老町下水道事業貸借対照表

(単位：円、%)

資 産 の 部		負債及び資本の部	
年 度	令和2年度末	年 度	令和2年度末
科 目		科 目	
固定資産	13,634,480,650	固定負債	4,679,443,367
有形固定資産	13,633,330,650	企業債	4,679,443,367
土 地	86,616,355	流動負債	672,265,793
建 物	810,544,546	企業債	603,297,916
構 築 物	10,794,252,488	未 払 金	63,843,686
機械及び装置	1,307,404,136	引 当 金	4,784,000
車輛運搬具	0	預 り 金	340,191
工具器具及び備品	1,020,062	繰延収益	6,906,093,375
建設仮勘定	633,493,063	長期前受金収益化累計額	7,307,867,627
無形固定資産	1,150,000	国庫補助金	6,150,134,964
ソフトウェア	1,050,000	受益者負担金	444,432,666
電話加入権	100,000	受贈財産評価額	40,501,542
流動資産	188,004,841	その他長期前受金	672,798,455
現金預金	139,141,661	長期前受金収益化累計額	△ 401,774,252
未 収 金	49,255,285	(負 債 合 計)	12,257,802,535
貸倒引当金	△ 392,105	資本金	1,431,861,116
		資本金	1,431,861,116
		剰余金	132,821,840
		資本剰余金	7,408,000
		国庫補助金	7,408,000
		利益剰余金	125,413,840
		当年度未処分利益剰余金	125,413,840
		(資 本 合 計)	1,564,682,956
合 計	13,822,485,491	合 計	13,822,485,491

別表3

キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

区 分	令和2年度
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	125,413,840
減価償却費	614,464,220
資産減耗費	21,579,353
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,494,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	392,105
その他引当金の増減額 (△は減少)	1,290,000
長期前受金戻入額	△ 321,413,966
受取利息及び受取配当金	0
支払利息	98,966,635
未収金の増減額 (△は増加)	2,036,578
未払金の増減額 (△は減少)	△ 25,291,868
その他負債等の増減額 (△は増加)	△ 14,945,852
小 計	505,985,045
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△ 98,966,635
業務活動によるキャッシュ・フロー	407,018,410
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 739,271,046
有形固定資産の売却による収入	325,701,000
国庫補助金等による収入	426,034,900
受益者負担金等による収入	768,858
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,233,712
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	234,800,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 623,140,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 388,340,492
資金増加額 (又は減少額)	31,911,630
期首資金残高	107,230,031
資金期末残高	139,141,661

別表 4

経営指標（財政状態の健全性・効率性・老朽化の状況）

（財政状態の健全性・効率性）

区 分	算 式	令和2年度
①経常収支比率 (%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	111.9
②流動比率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	27.9
③企業債残高対事業規模比率 (円)	$\frac{\text{企業債現在高合計} - \text{一般会計負担額}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益} - \text{雨水処理負担金}} \times 100$	809.0
④経費回収率 (%)	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費（公費負担を除く）}} \times 100$	57.9
⑤汚水処理原価 (円)	$\frac{\text{汚水処理費（公費負担を除く）}}{\text{年間有収水量}}$	43,561.5
⑥施設利用率 (%)	$\frac{\text{晴天時1日平均配水量}}{\text{晴天時現在処理能力} \text{ m}^3/\text{日}} \times 100$	52.1
⑦水洗化率 (%)	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$	94.5

（老朽化の状況）

①有形固定資産減価償却率 (%)	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$	4.5
②管渠老朽化率 (%)	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$	6.6

（小数点第2位以下切捨）